

# 日本農業大賞に佐藤忠美さん

第47回日本農業賞の個別経営の部で金賞に輝いた佐藤忠美さんが、3月13日、田中町長のもとに喜びの報告に訪れました。



町内9区の佐藤忠美さんが、3月10日に東京NHKホールで開催された「第47回日本農業賞表彰式」において、「個別経営の部」で大賞を受賞しました。種もみを田んぼに直接まく直播栽培に取り組み、規模拡大と省力化の実績が「家族経営による大規模農業の到達点」と評価されました。個人の部では、北空知管内での受賞は佐藤さんが初めて。朝早くから夜遅くまで働くご両親の仕事ぶりを見て、もっと違うやり方があるのではと、直播栽培に取り組み20年以上、農

業の基盤でもある土づくりが直播栽培にとっても重要であると実感し、さらに、肥料や水の管理を徹底することで、苗を移植する通常栽培並みの収量を実現しました。また、この直播作業により農繁期の4割ほど労働時間を減らすことができることを実証しました。「妹背牛直播研究会」の会長も務める佐藤さんは、自身が、試行錯誤して得た知識や経験を地域農業のために、積極的に公開し、技術の共有を図り、直播の普及を進めています。これからは労働力の確保が難しく、若い人たちも省力化をもっと意識して、趣味を楽しめるようなゆとりある生活を送ってほしいと願っています。

2月27日、妹背牛町では23年ぶりとなる空知管内技能尊重推進大会が町内外から120名の参加のもとに町民会館で開催されました。



技能者自ら職業意識を高め、社会的・経済的地位の向上をめざし、第42回空知管内技能尊重推進大会が開催されました。

## 妹背牛で空知管内技能尊重推進大会開催

大会では、優秀技能者4名と青年技能者2名の表彰も行われ、町内で左官業を営まれる小野忠宏さんが優秀技能者表彰を受けました。

小野さんは、永年にわたり技能協会の役員を務められ、社会奉仕活動に積極的に参加するなど、地域の発展と技能者の地位向上に向け尽力、業界の発展に多大な貢献をなされた功績が評価されました。

また、午後からは記念講演も行われ、佐藤鋳物工株式会社代表取締役 佐藤孝造氏が講師を務められました。43回目の大会へ向け、技能者自らの職業意識を高め、技能者の社会的・経済的地位の向上を図ると共に、次世代へ継承するための努力と活動を怠らず、地域発展に寄与することを確認し閉会となりました。